



THE SERVICE CLUB OF YMCA

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2024年9月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

EMC (クラブ拡張、会員増強、維持啓発)

一 主題

国際会長 「Together for a better world」
 アジア会長 「変革のための光となろう」
 東日本区理事 「Our Future Direction
 ワイズの方向性を見極める」
 北海道部部长 「Well Beingなワイズライフを！」
 健康で楽しいワイズライフを！」
 札幌クラブ会長 充実した人生を送るためのワイズ活動」

A. Shanavaskhan (インド)
 ジョウン・ウオン (香港)
 山田 公平 (宇都宮)
 柴田 伸俊 (札幌)
 小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員

会長 小野 健
 副会長 山崎 修
 書記 本宮 大輔
 会計 秋葉 聡志
 直前会長 小野 健

あなたがたの中の戦いや争いは、どこから起こるのですか。あなたがたの体の中でうごめく
 欲望から起こるのではありませんか。 ヤコブの手紙 第4章-1 小野 健選

巻頭言 デジタル墓で変わる供養のカタチ 札幌クラブ副会長 山崎 修



昨今の日本では、「お墓じまい」が一種のブームとなっています。お墓じまいは、改葬の一手段として広がりを見せています。かつては身寄りがなく、やむを得ずお墓じまいを選択する方がほとんどでしたが、現在では息子や娘がいても、「子供たちに迷惑をかけたくない」という言葉が、まるで呪文のように世間に浸透し、それに踊らされているように感じることがあります。この現象は、母が戦時中に竹槍で B29 を落とす訓練をしていた姿と重なるような気さえします。

もちろん、お墓じまいがここまで注目されるには理由があります。少子高齢化や都市部への人口集中、さらには戦後長く続いた平和な時代の影響が大きいでしょう。また、核家族化が二世帯にわたって進行する中で、会ったことのない先祖のお墓参りに意義を感じないという声も増えています。その背景には、ご先祖様の人物像や人生についての情報が乏しいことが一因として挙げられます。

さらに、自治体が管理する墓地が時代の変化に対応していないことも問題です。多くの公営墓地では従来の形式が維持され、現代の多様化したライフスタイルや、継承者がいない人々への対応が十分に整っていません。このため、特に若い世代や都市部に住む人々にとっては、故郷の墓に足を運ぶことが難しくなり、結果として墓参りが疎遠になっているのです。

お墓は故郷に留まることに価値がありますが、動かせないという点ではデメリットもあります。そこで、自宅にある古いアルバムを整理してデジタル化し、QR コードを活用してお墓とご先祖様の人生の物語を結びつけるデジタルファミリーヒストリーを提案しています。この技術により、子孫がどこにいてもスマートフォンを使ってご先祖様の生涯を可視化し、身近に感じられるようになるのです。

これからのお墓のあり方は、単に物理的な場所に依存するのではなく、デジタル技術を活用して未来に向けてつなぐ新しい形が求められています。自治体や伝統的な墓地管理の在り方も、こうした時代の変化に柔軟に対応することが求められているのです。

2024年9月例会
出席報告

在籍会員 12名 出席者 11名 メネット 0名 メーキアアップ 1名
 ゲスト 0名 ビジター 1名 出席者合計 14名 出席率92%

札幌ワイズメンズクラブ 2024年9月例会

日時：2024年9月17日（火）18:30～20:30
会場：北海道YMCA 101教室+リモート
会費：1,000円

- | | | |
|-----------------|------|-------|
| | 司会 | 山崎 修 |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 小野 健 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 全員 | |
| ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を | 小野 健 | |
| ④ 開会あいさつ | 会長 | 小野 健 |
| ⑤ 誕生日 | 9月8日 | 秋葉 聡志 |
| ⑥ 結婚記念日 | なし | |
| ⑦ 卓話 | | |

市民の声を世界に届ける ～市民社会サミット in イタリア報告～

CoDESIGN (コデザイン) 代表 有沢美紀様

- ⑧ 諸報告
⑨ YMC A 報告 担当主事 北川 佳治
⑩ 私も一言
⑪ 今月の歌

「知床旅情」 中田 靖泰選

- ⑪ 閉会あいさつ、閉会点鐘

札幌クラブ 会長 小野 健

何故このことばを！ 小野 健

ガザやウクライナ、スーダンなど、世界各地で続く争いは全く先が見通せず混沌としています。ブルキナファソでは先日また 100 名以上の村人が殺害される痛ましい事案が発生しました。マリでは親ロシアであるという理由でウクライナがテロ組織を支援して、軍や民間人に重大な被害が発生する事案も発生し、マリ・ニジェール・ブルキナファソのサヘル連合の国がウクライナと国交断絶となっています。

ウクライナの戦争も単純にロシアから侵攻したからロシアが悪いという単純な構造ではなくなっています。誰が正しいのか、何故争いが起こるのか、我々はどうすればよいのか、様々な情報に接する中、自分たちで考え、見極める力が必要だと痛感しています。

札幌クラブ8月例会

日時：2024年8月20日（火）18:30～20:30

場所：北海道YMCA 101教室

参加者：秋葉、小谷、柴田、中田、伏木、宮崎、山崎、義村（リモート）小野、熊

今月の卓話者は札幌クラブ会長小野健ワイズです。世界中を飛び回っているうちについてコロナに感染、札幌の自宅から熱のこもった卓話でした。

小野会長は JICA 時代から数えて 30 数年にわたり、ブルキナファソを中心にアフリカ各地で主に水利、農業近代化に献身しています。

ブルキナファソの日本の幕末、文明開化時代を思わせるような近代化の苦しみ、中国、ロシアの進出に揺れるアフリカの現状の話は折に触れて伺っていましたが、今度は会長の第2の故郷マダガスカルの日々の暮らしの話でした。普通の人々が何を食べ、どんな暮らしをしているかを語ってくれました。（会長の愛妻エレナさんはマダガスカル出身です。）マダガスカルと言えばバオバブしか知らなかった会員もいっぱしのアフリカ通、マダガスカル通になりました。

「今月の歌」は柴田メン選の「メダカの兄弟」。歌える人、聞いたこともないひと。世代の違いを感じました。（文責 中田）



写真江：札幌クラブ 8月例会

前列左から、柴田、義村、中田、宮崎
後列左から、小谷、伏木、秋葉、山崎、北川
壁面スクリーンに、小野、熊

何故この歌を！ 中田 靖泰

札幌か北海道を歌った歌を歌いたいと思いました。サザンクロスの「好きです札幌」とか裕次郎の「恋の街札幌」は他人が歌うのを聴くのは好きですが自分では歌えない。「石狩挽歌」や「襟裳岬」は寂し過ぎる。結局、「知床旅情」にしました。森繁も加藤登紀子も好きでしたから。

マダガスカルのお話し

札幌クラブ会長 小野 健

これまでアフリカについての卓話を何度かさせていただきましたが、マダガスカルについては今回が初めての発表となります。

マダガスカルはアフリカ南東のインド洋に浮かぶ世界で4番目に大きな「島国」です（日本の約1.6倍の面積）。大きすぎるので島（《Ile》とフランス語で呼ばれています）というよりは、感覚的にはもはや大陸です。中央部は標高800m以上の高原で涼しくとても過ごしやすい気候です。冬（日本の6月～9月）の朝晩はとても寒く10℃以下になり暖房も必要になります。場所によっては時々氷も張ります。中央高地には火山があり温泉もあります。逆に沿岸部はとても暑く35℃以上の熱帯です。北部には熱帯雨林、南部は乾燥ステップが広がり、非常に多様性のある気候と地形、植生を形成し、マダガスカル島のできた経緯と合わせて固有の動植物相を生み出す要因となっています。

人口は約2,800万人で、東南アジアや東アフリカ、インド、中国、アラブなどからの様々なルーツを持つ人たちです。フランスから独立（1960年）したこともあり、公用語はマダガスカル語とフランス語です。日常的にはマダガスカル語が使われており、地域によって無数の方言があり、日本でいえば青森弁と沖縄弁くらいの違いがあります。日本の文化や特にアニメに関心のある若者が多く、日本語を勉強している学生さんも結構います。

マダガスカルは農業国で国民の多くが農業に従事しています。主要な品目は、なんとといっても主食であるコメ（コメを語らずしてマダガスカルを語るべ



写真上：典型的なマダガスカルご飯。とても美味しいです。

からず！）、トウモロコシ、キャッサバ、マメ、サツマイモ、落花生のほか、コメの裏作で様々な野菜を生産しています。換金作物としては、世界的にも有名なバナラビーンズやカカオ（マダガスカル産のカカオはあまり知られていませんが実は世界最高クオリティです）、コーヒ、コショウ（コショウも非常にクオリティが高いです）、グローブなどの香辛料、イランイラン（香水の原料）、ラフィアヤシ（マダガスカルの人みんな買い物時に持っていく手提げのマイバックをはじめ民芸品で利用）など様々なものがあります。

多様な気候により、マンゴーやパイナップル、バナナなどの熱帯果樹のほかに、カキ（日本のカキとほとんど同じです）やライチ、ブドウ、モモ、リンゴ、ナシ、柑橘など、ありとあらゆる果物が楽しめます。

四方を海に囲まれているので当然漁業も盛んで、エビ養殖で日本のマルハさんも入っています。

鉱物資源も豊富な国で、イルメナイト（チタン）の埋蔵量は世界最大規模、ニッケル・コバルトの開発には日本の商社も参画しています。宝石類の埋蔵量も豊富で、サファイヤ、ルビー、エメラルド、ガーネット、トルマリンなどなど、大昔のアメリカのゴールドラッシュの様相で、違法採掘や環境破壊、治安悪化などが深刻な問題となっています。



写真上：こんな立派な建物もあります。旧王宮跡です。

マダガスカル人の主食はコメで、とにかくコメがなければ始まらない！という人たちです。基本的には白いコメ（赤もありますが）に肉や魚、マメ、現地独特のチンゲンサイのような野菜などを煮込んだソースをかけて食べます。基本的には塩コショウの味付けでシンプルですが、とても美味しいです。私は昼はまずマダガスカルの現地ご飯です。朝も米粉のパンやおかゆを食べる人が多

く、本当にコメ中心の食文化です。また、町のいたるところに揚げ菓子やサモサ、ジュース・コーヒを売っている露店があり、私はいつもどこかで必ず買い食いをしており、マダガスカル出張中はいつも体重が増えてしまいます...

マダガスカルの人たちはかなりのお酒好きで、様々な銘柄の国内産ビールがあるほか、ワイン醸造所も各地にありグレーワインと呼ばれる独特のワインのほか、様々なワインが楽しめます。私が現在仕事をしているアムルマニア県というところは、「トカガシ」と呼ばれるサトウキビを蒸留したラム酒が有名で、昼間から老若男女問わず酔っ払いが多いです... そのままストレートでも飲みますが、ライチやショウガなど様々なフレーバーをつけたトカガシも楽しめます。出張に行くたびにカウンターパートやスタッフが田舎のトカガシを作っているところからペットボトルで何本もお土産に買っていきます。

こんなとてもポテンシャルの高いマダガスカルですが、世界でも下から数えたほうが早い貧困国のひとつで、経済・社会面で深刻な課題を抱えています。マダガスカルは私の第2の故郷であるので、みんなが幸せに暮らせる社会を作ることに少しでも貢献していければと日々考えているところです。



写真最後に、マダガスカルと言えはばやはりバオバブでしょう。

ユースアクション グッズドライブについて 菅 遼香



写真上： 「グッズドライブとは？」熱く語る菅さん。右はユースのボランティアの加野君。

札幌 YMCA ユースボランティアではユースアクションの一環として「グッズドライブ」という企画を実施しています。「グッズドライブ」とは不要になった衣服やスキー用品を回収し、新たに必要としている家庭に物々交換で届けるという取り組みです。

なぜ、物々交換をするのかについてですが、もし「衣服を無料で譲渡します」と広告を打てば、企画への参加や衣服を受け取る際に躊躇してしまう人も出てくるのではないかと考えます。

そこで、ただ譲渡するのではなく物々交換という形をとることで、誰もが気軽に企画に参加できるのではないかと考えました。これは YMCA の理念であるウェルビーイングから着想を得ました。

ウェルビーイングとは精神的・身体的・社会的に満たされている状態を指す言葉です。「グッズドライブ」は精神的健康を守り、循環型社会への貢献も担います。6月中旬に実施した第1回グッズドライブでは20家庭程が訪ねてくれました。

グッズドライブを通して札幌西ロータリークラブ協賛のキャンプに申し込んでくださったご家庭もありました。私達はグッズドライブを衣服を交換する場としてだけでなく、YMCA という団体の取り組みを知ってもらおう場としても活用したいと考えています。

また、誰もが気軽に参加できるようにお祭りのような雰囲気になりたいと考えています。第2回グッズドライブは10月13日 YMCA 国際協力チャリティイベントにて実施いたします。

札幌 YMCA ユースボランティアではワイズメンズクラブの皆様と協力してグッズドライブ全体を盛り上げていきたいです。ワイズメンズクラブの皆様には日頃の感謝を申し上げるとともにご協力よろしくお願いたします。



写真上： YMCA は早速「グッズドライブ協力ボックス」を設置しています。大いにご活用下さい。

ユースとの交流・支援

8月27日の事務会において札幌ワイズメンズクラブは、札幌 YMCA ユースボランティアリーダー会と汝羊寮との仲立ちをしながら交流・支援を促進することを決定した。具体的な連携・交流・支援のアイデアは以下の通り。

- ▼グッズドライブへ汝羊寮の有志が参加（近々では秋のチャリティーイベント）
- ▼汝羊寮学生が企画している活動・イベントへユースボランティアリーダー会のメンバーが参加（どのような活動を行っているか）
- ▼札幌 YMCA の秋のチャリティーイベントにワイズと一緒に参加
- ▼十勝への秋のチャリティーイベント用のジャガイモ掘りへの参加
- ▼ワイズ例会へご招待、もしくは卓話を依頼
- ▼時計台コンサートへの参加促進（チケット販売などの準備にも協力をお願い）
- ▼汝羊寮の例会へワイズメンバーがオブザーバーとして参加（秋葉さんは定期参加中）
- ▼交流会（飲み会）の企画⇒おおよその日程を決めたいと考えています。

2024-2025年度 北海道部 第1回評議会 議事録

報告者：書記 伏木 康

評議会報告

報告者 書記 伏木 康

日時： 2024年8月31日(土)

14:00~15:30

場所： 豊平館 1F 下の広間

出席者

▼十勝クラブ 4名

矢竹克年、山田敏明、山下真、中村義春

▼北見クラブ 4名

古賀勝己、藤原和久、二本松能敬、大沢偉和夫

▼札幌クラブ (15名)

小野健、柴田伸俊、秋葉聡志、宮崎善昭、熊敏彦、小谷和雄、伏木康(7名)

▼東日本区 (2名) 山田公平、鈴木伊知郎

司会 書記 伏木 康

1. 既決権者の確認

出席義務者 23名 (27議席)、出席者 15名 (19議席)、委任状 8名 (8議席)

2. 議長選出 規約により柴田部長

議長： 北海道部部长 柴田伸俊

3. 議事

第1号議案 2023-24 北海道部活動中間報告

直前部長 古賀 勝己 承認

部の活動計画は期がスタートして2か月経過した時でなく、期のスタート前に今後報告しよう(意見)

第2号議案 2023-24 北海道部会計中間報告

直前会計 二本松 能敬 承認
(含 会計監査 中村義春の報告)

第3号議案 第27回東日本区大会 in 十勝報告の件

実行委員長 山田 敏明 承認
スポンサーに感謝、でも今後過大にならないように予算管理しましょう(意見)

第4号議案 2024-25 北海道部部长方針・活動計画の件

部長 柴田 伸俊 承認

第5号議案 2024-25 北海道部役員・クラブ役員確認の件(p8)

部長 柴田 伸俊 承認

第6号議案 2024-25 北海道部会計予算案の件

部会計 秋葉 聡志
11)支出の部 部長旅費補助(役員会)の24-25
予算 18,000 を 40,000 に変更、23)支出の部
予備費も 22,000 承認減額の上 承認

第7号議案 2025-26 北海道部選出代議員の件

部長 柴田 伸俊 承認

第8号議案 2025-26 北海道部監事の件(p10)

部長 柴田 伸俊 承認

第9号議案 2024-25年度第2回評議会・次期役員研修会の件(p10)

部長 柴田 伸俊 承認

部会報告

24-25 北海道部長 柴田伸俊



14:00 から行われた評議会は予定の議案が無事終了し、休憩の後、部会が開催されました。柴田部長の開会点鐘、東日本区山田理事からのご挨拶をいただき、部長からの評議会報告が行われ、講演が始まりました。

講演はエコネットワーク代表の小川巖様に「今どきの熊事情」と題して約1時間のお話をいただきました。全国的な問題を抱えている熊の実態に関して、根本的な問題は何か？ どうしたら問題解決に近付けるのか考えさせられる課題でありました。

懇親会は会場を移して、札幌の方にはなじみの老舗三川屋会館にて行われました。本宮会員の司会で小野会長の歓迎の挨拶と小谷会員の食前感謝・乾杯で楽しい会食が始まりました。小川さんの講演で質問時間が取れず、改めて熊についての質問などが飛び交い、東日本区会計の鈴木伊知郎さんからは「ぜひ来年の東日本区大会へ、餃子が待っています！」のアピールがあり、澁谷実季メネット委員長の「メネット会の絵本にも是非興味を持ってください！」とアピールされ、伊東クラブからは榎本博さん、金子正樹さん、稲葉富士憲さんがウクレレご持参でクラブ 50 周年のユニークなアピール披露されました。安田文子会員は途中参加で 12 月開催の札幌ワイズコンサートの特ラシ配りに奔走していました。あっという間の2時間でしたが、柴田部長期の船出を後押しして頂ける楽しい懇親会が幕を閉じました。



写真 上： 国指定重要文化財の豊平館（ほうへいかん）の前で記念写真を撮りました。

YMCAニュース ヘルシーキッズキャンペーン&チャリティーイベント 担当主宰 北川 佳治

ヘルシーキッズキャンペーン (キッズプログラム体験会)のお知らせ

9月と10月に札幌 YMCA キッズプログラムの体験キャンペーンを実施します。アクアティックや体操などのウェルネスプログラム、英語やピアノ、プログラミングなどの文化教養プログラムをご用意しております。体験からご入会いただいた方には、キャンペーン特典をご用意しておりますので、是非この機会にYMCAへお越しください。

プログラム詳細は、WEBから「札幌 YMCA」で検索ください。

国際協力チャリティーイベント

来る10月13日(日)に札幌 YMAC 会館にてチャリティーイベントを実施致します。まだ、コロナ前の飲食を伴う企画は復活できませんが、様々な体験型企画(水泳・体操プライベートレッスン、eスポーツ大会、縁日コーナー、ビンゴ大会など)を多数ご用意して皆様をお待ちしています。是非、ご家族皆様でお越しください!

尚、本イベントの益金は、主に、ベトナムの子ども達の教室建設費用に使用されます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

お問い合わせ・お申し込み：
札幌 YMCA (011-561-5217)



札幌クラブ 8月事務会報告

★作成 秋葉 聡志

★ブリテン用短縮作成 中田 靖泰

2024年8月27日(火) 19:00~20:00

北海道 YMCA 総主事室+オンライン

出席者：小野(長)・秋葉・小谷・柴田・中田・宮崎

1. 9月号ブリテンについて

・中田先生作成資料を参照。ブリテン原稿執筆者の担当確認。

2. 9月例会卓話：「市民社会サミット日本代表として参加して」・北海道 NGO ネットワーク協議会事務局長) 有坂美記さん

3. 2024年10月以降の例会卓話について(案) (ア) 10月 YVLF 報告 まこっちリーダー (イ) 11月 チミケップ60周年報告

4. 札幌クラブのYMCAサービス等の担当について

●北海道部会(8/31(土))での部からの周知後に検討・決定する。

5. 北海道部評議会・部会について(8/31(土)豊平館)

●柴田部長、伏木書記から出欠の最終確認、メンバーによる準備の役割分担等説明。

十勝5名 北見5名 札幌10名 東日本区3名
講師1名 評議会次第・主査役割周知

・北海道部役員確認 役割分担 札幌クラブ
13:00 集合 会場セッティング 受付・会計 お茶コーナー 懇親会会場マップ準備等。

6. ワイズメンズクラブ東日本区サポートファンド

●前回8/20(火)例会の最後に会長から呼びかけ(サポートファンドへの寄付はクラブとしてではなく各会員の意思にゆだねる)を行う予定だったが、失念したため9月例会時に会員に告知。☑承認

7. 秋のチャリティーイベント

●10/13(日)
●ワイズコーナー(コーヒー等の販売+グッズドライブ協賛・サポート)
●ジャガイモ販売(芋ほりイベントについては事前にとち帯広ランチと日程調整、日時決定次第メンバーへ連絡)
➢(第一候補)9/28(土)、(第二候補)9/29(日)

参加予定：小野、小谷、宮崎、秋葉

汝羊寮やユースのメンバーにも声がけ→小野から連絡。☑ユースリーダーのとりまとめ移動はYMCA。

8. YVLF 参加確認

日程：9月6日(金)~8日(日) 2泊3日

場所：東京 YMCA 山中湖センター

参加者：加野誠(まこっちリーダー)